

農家と農業委員会をむすぶ

あきたし

農委だより

第64号

編集発行 秋田市農業委員会
 集行所 〒010-8560
 秋田市山王一丁目1-1
 TEL (018) 888-5796
 FAX (018) 888-5797

新年度のごあいさつ



秋田市農業委員会

会長 佐々木 吉 秋

今冬は雪の少ない、穏やかな年となりましたが、皆様にはご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。また、当委員会の業務運営に対し格別のご指導とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年、本県では大きな災害はありませんでしたが、全国的には8月の九州北部豪雨、9月から10月にかけての台風15号、19号、21号による豪雨などの自然災害が発生し、多くの農家が被災しました。

また、昨年12月の臨時国会において日米貿易協定が承認され、牛肉や豚肉を生産する畜産農家の方々には大きな影響を与える可能性があります。

これらのことから、政府には、被災した農家の復興支援や、日米貿易協定に対する農家の不安を払拭し、生産現場に安心感を与える十分な支援を要望しております。

今年度も、当委員会では、農地利用の最適化の実現のため、農地パトロールの実施、遊休農地の解消、発生防止に努め、農地の利用調整に取り組んで参ります。

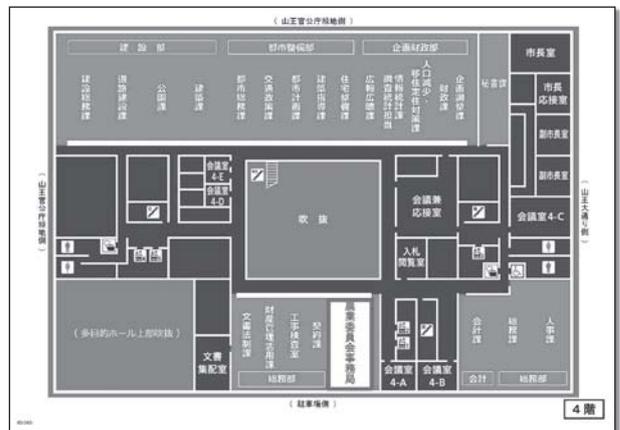
結びになりますが、本年に入り新型コロナウイルスが世界的に猛威をふるっています。くれぐれもお体にご留意下さい。

皆様にとりまして、本年も実り豊かな年となりますようお祈り申し上げあいさついたします。

農業委員会事務局移転のお知らせ

次のとおり移転しました。
 お越しの際はお間違えないようご注意ください。
 なお、電話番号・FAX番号・Eメールアドレスに変更はありません。

- 1 移転日 令和2年3月23日(月)
- 2 移転先 市役所4階



本年度もよろしくお祈りします。 秋田市農業委員会 農業委員・推進委員・事務局職員一同

会長

佐々木 吉 秋

会長職務代理者

齊藤 善 彦

農業委員

推進委員

小野 賢一 佐藤 正男

稲垣 靖 高橋 利秋

鈴木 昇 伊藤 貞美

三浦 宏和 保坂 正真

武藤 真作 中嶋 庄悦

須磨 良郎 越後屋権一

藤田 修 萩原 豊

佐々木英久 鎌田 重憲

佐々木繁明 加賀屋慎一

鈴木万喜夫 鈴木 英弘

相場 堅一 平川 秀悦

松本トシ子 鎌田 悦雄

伊藤 洋文 三浦 藤孝

安田 友一 加藤 哲実

柴田ますみ 鈴木 栄一

白岩 勝 勝浦 隆

田近 金一 佐藤 公誠

(議席順)

佐々木和昭

鈴木 仁司

足利 俊博

藤島 岳洋

石塚 裕幸

佐々木聖爾

伊藤 錚悦

酒井 慶一

佐々木 孝司

吉田 孝司

齊藤又右衛門

(区域順)



令和元年度秋田市農業大賞表彰式

秋田市農業大賞表彰式が、本年2月6日に秋田ビューホテルで開催されました。表彰式では市内の農業者や関係機関、約150名が参加し受賞者の皆様をお祝いしました。

今回は、農業大賞を受賞された株式会社寿牧場の代表取締役の高橋長寿さんへ、受賞に際しての喜びの声を聞きに伺いました。

秋田市農業大賞 株式会社 寿牧場

畜産クラスター事業を活用し肥育牛舎等の整備を進め、県内最大級の飼養規模である600頭の肥育牛を飼養している。年間出荷頭数は約360頭。上物率は97%。

Q まずは、この度秋田市農業大賞を受賞された感想を教えてください。
A 高橋さん……自分の地元である秋田市の農業の栄誉ある賞をいただけるということは素直に嬉しい気持ちです。それと同時に、今後も頑張らなければいけないという意欲も湧いてきます。

Q 高橋さんが畜産を始めるきっかけは何ですか？
A 高橋さん……私が畜産連合会の職員だった頃に全県の農家を巡回指導していたことがありました。その時に感じたのが、「自分がやったことのないことを指導として人に伝えても、聞く耳を持ってもらえない」ということです。その経験が、自ら畜産を試してみようというきっかけになりました。

Q 最初はどんな形で始めたのですか？
A 高橋さん……最初は、6頭の牛を自宅の近くで飼い始めました。私が28歳くらいの頃です。勤めながら飼っていたので、朝早く起きてエサの調達をしたり、夜も仕事終わりに牛の世話をしていました。この頃の経験が、私の畜産農家としての原点です。

Q 畜産農家としての仕事の喜びは何ですか？
A 高橋さん……一番の喜びを感じるのは出荷するときです。質の高い和牛を育てるには、エサや牛の扱い方、飼育環境など、様々な要素を総合的に整える技術が必要です。その成果を価格・等級として目に見える形で評価されるのは、何よりも嬉しいことです。

Q 今後の目標を教えてください。
A 高橋さん……この牧場で600頭の牛の飼育ができたので、今後は耕畜連携を目指して、ここで出る堆肥を地元の農家さんに供給し、有機的に活用してもらって、高品質な畑作物を作っていただきたいと考えています。

農家さんに使って良かったと思われる堆肥を作り、うちの堆肥を使って育てた野菜、果物が消費者の方においしいと感じてもらえたら最高です。そして、それが秋田の農業の活性化につながる事が一番の理想です。



高橋さんのこだわりが詰まった牛舎で

秋田市農業賞
○経営体部門
伊藤 邦夫様
田口 俊次様

○若手農業者部門
鷺澤 秀光様

○地域活性化部門
一般社団法人耕壤種子生産組合
ファーマーズマーケット彩菜館
運営協議会

農政協力員永年勤続表彰受賞者

- 米塚一成(旭川)、佐藤春見(外旭川)、鈴木太郎、鎌田政勝(上新城)、櫻田善悦、嵯峨佐太信(太平)、進藤久信、村越友春(下北手)、堀井喜一(四ツ小屋)、高橋敏美(下浜)、伊藤竹治(金足・下新城)、松田信一、大山長一、鈴木忠利、佐々木幸、佐々木正勝、関一男(豊島)、細谷金照、藤原正俊、田口金悦、後藤章、高橋正昭、佐藤太郎兵衛(和田)、岩谷盛悦、山上文明、田口忠次、戸井田昌俊(岩見三内)、伊藤進(川添)、長谷部誠(戸米川)



農業賞受賞者と永年勤続表彰者のみなさん

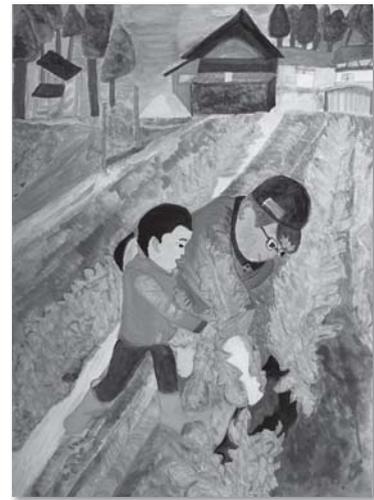
農業子ども絵画コンクール入選作品



「えだまめいっぱいとれたよ」
安達 歩美さん (中通小1年)

優 秀 賞

審査委員コメント抜粋
・親子で楽しそうに農作業をしている様子が生き生きと描かれている。
・父親の嬉しそうな表情が素晴らしい。大根もおもしろいものが描かれている。

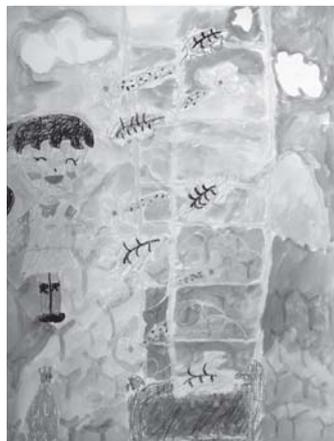


「大きな大根」
最上 柚希さん (旭北小3年)

最 優 秀 賞



「田うえをしたよ」
中川 青葉さん (土崎小2年)



「大きくなったきゅうり」
佐藤 凜さん (飯島南小2年)



「朝にお水をあげているところ」
渡邊 実央さん (飯島南小2年)

特 別 賞



「おいしいお米になあれ」
三國谷 咲月さん (土崎小5年)



「初めての田植え」
八巻 結子さん (広面小5年)



「キャベツをしゅうかくする人」
佐藤 春さん (飯島南小4年)



「大地の恵」
三浦 凜太郎さん (飯島小6年)



「とれたての夏野菜」
伊藤 結和さん (飯島南小6年)

園芸振興センター研修生取材

前号(第63号)に引き続き、園芸振興センターにお邪魔しました。冬期間の研修の様子を取材し、センターで過ごしたこの一年のお話を三浦桐子(ひさこ)さん、佐々木充(みつる)さんに伺ってきました。

Q 令和元年度のセンターでの活動を一言で表すと何ですか？
その理由も教えてください。

三浦さん：「一歩前進」です。理由は、入所当初は農業の「の」の字も知らない状態でしたが、この一年の研修を通じて農業についてたくさん吸収でき、就農するという目標に一歩近づくことができました。

佐々木さん：「農業経営を開始するにあたっての知識の習得と情報収集」です。三浦さん同様、農業の知識、技術がないまま研修に参加しました。農業技術検定、農業簿記検定を受け資格を取得し、農業経営マネジメントについての講座などに積極的に参加し、知識を身につけることができました。また、JA主催の現地研修や先輩農家さんのところで行う農業研修を通じて、実践的な情報を集めることにも力を入れた一年でした。

Q 一年間の研修を通して最も自分自身が成長したと感じる部分は何ですか？

三浦さん：農業技術検定3級に合格したり、農家研修でダリア栽培の知識が増えたところです。

佐々木さん：様々な研修で栽培管理の流れを体験したこと、経営に関する講義を受けたことにより具体的な経営方針を考えられるようになったところです。



トマトの接ぎ木をする佐々木さん

Q 農業に関する知識や技術についての課題は何ですか？
また、克服するために努力されていることがあれば教えてください。

三浦さん：一年間、センターでのダリア栽培を通じて、ダリアの日持ちの短さを痛感しました。日持ち性を向上するための知識や、ダリアの加工技術についてももっと学んでいきたいと考えています。

佐々木さん：知識、技術ともまだまだ足りないと感じています。現在、栽培管理から販売まで実践するプロジェクト研修が始まっています。この研修で、接ぎ木の仕立て方等の管理技術や作業スピードを意識するなど実践的な技術を習得したいです。また、栽培管理におけるデータを収集して分析し、より知識を増やしたいと思っています。

Q 最後に研修二年目(令和二年度)に向けての抱負をお願いします。

三浦さん：プロジェクト研修として、ダリアの栽培をハウスと露地で実践しています。昨年の11月から親株を育て、ハウス定植の挿し芽が順調に育っているので、毎日わくわくしています。研修で良い成果を出し、就農につなげていきたいです。

佐々木さん：研修一年目で学んだことを実行し、失敗を恐れずチャレンジする年にしたいです。二年目の経験を基に、就農時の品種選びや土壌改良、導入する農機具や設備などを再検討し、経営開始時のリスクを減らしたいと思っています。



ダリアの挿し木をする三浦さん

パソコン農業簿記講習会(初級者編・応用編)



農業委員 佐々木 英久

私は今回、3日間にわたって開催された農業簿記講習会に参加しました。

昨年の12月2日・3日に行われた初級者編では、複式簿記の基礎やパソコン農業簿記の基本などを学習しました。また、今年の1月24日の応用編では、実際に自分の簿記データを用いて帳票の確認方法や決算処理の操作を学びました。

確定申告は、毎年2月から3月にかけて行います。税法は複雑で毎年制度が変わることから、最新の情報を得ておくことが重要です。講習会では、簿記ソフトの使い方だけでなく、農業者が知るべき税制改正のポイントも教えていただき大変勉強になりました。

私と一緒に受講した方々からも「来年度もぜひ講習会を開催してほしい」という声をいただいております。来年度の開催については、10月11月頃の広報あきたと農業委員会HPでお知らせしますので、興味がある方はぜひ受講してみてくださいはいかがでしょうか。



応用編の講習の様子

主な講習内容

- パソコン農業簿記講習 (講師：ソリマチ)
 - 「複式簿記の基礎」
 - 「パソコン農業簿記の基本」
 - 「データを用いた簿記記帳」 など
- 税理士による講話
 - 「青色申告について」
 - 「簿記記帳の実務と税務申告のポイント」
- 税務署職員による講話
 - 「農業者が知るべき税改正のポイント」

活き活き農業専科を開催しました!

本年1月25日～2月15日にかけて、市内7地区で地元農業委員および農地利用最適化推進委員の主催による活き活き農業専科を開催しました。活き活き農業専科は、農業委員と農地利用最適化推進委員が農業者と意見交換し、農業委員会活動や要望活動に反映させるため、毎年開催しているものです。今年度は、約160名の皆様に参加していただきました。

講義では、各地区でそれぞれ地域の課題に応じたテーマを設定し、テーマに沿った専門の講師をお招きしました。北部地区では、秋田地域振興局農村整備課の方から、ほ場整備事業に関する説明を受けました。また、南部地区では、今話題の極良食味米品種「秋系821」の開発に関するお話を秋田県農業試験場の職員の方から伺いました。

それぞれの地域にとって関心の高い講演であったことから、皆さん熱心に耳を傾けていました。講義終了後には、参加者同士での質疑応答を交えた意見交換を行いました。

テーマ一覧

- ・ほ場整備事業について
- ・水田作におけるスマート農業について
- ・極良食味米品種「秋系821」の開発について
- ・経営所得安定対策等について
- ・農地法等の手續について
- ・地域の諸課題について



活き活き農業専科 (河辺地区)

第2回

農業委員紹介コーナー



農業委員

三浦 宏和

2回目の今号では、法律で1人以上は置くように定められている「利害関係を有しない委員」である三浦委員をご紹介します。

何もない大地に種をまき、人類にとって大事な食糧を作り出す。無から有に転じ新たな価値を生み出す農業はまさに神秘である。その大地こそが「農地」であり、種をまく人が「農業の担い手」である。そして全国の農業委員会共通のスローガンが「かけがえない農地と担い手を守り、力強い農業をつくる『かけ橋』」である。

間もなく桜のつぼみもほころぶ頃、多くの市民が行楽の車窓から、耕起・代掻き、田植えと続く農作業を目にする季節。昨年、各地の河川の氾濫、堤防決壊の大水害の映像と、すぐそばで水を引き米作りをする農業者の姿を重ね合わせ、農業振興施策への市税の支出が、整然とした土地利用、緑豊かな生活空間をもたらしてくれる、そのことを思い起こして欲しい。

農業者は農産物を「作るのは上手だが売るのは下手」と言われ、PR、発信力が劣っていると指摘される。そこで非農家の「中立委員」として、農業者の要望に耳を傾け、また、市民目線での意見を反映させ、市民と農業者相互理解の『かけ橋』を目指したいと思う。

令和2年度秋田市農業施策等に対する要望書を市長へ提出

令和元年10月8日、秋田市役所市長応接室にて、佐々木会長から穂積市長へ要望書を手渡しました。

本要望書は「秋田市農業活性化フォーラム」や各地区で開催している「活き活き農業専科」等の場で、農業者の皆様からいただいたご意見やご要望を集約し、農業委員会総会において協議の上、決定したものです。

穂積市長からは「農業を取り巻く環境は楽観できるものではなく、依然として農業者の高齢化や担い手不足は深刻である。市として本日提出のあった要望書を参考に、県やJAなど関係機関と連携しながら効果的な施策を講じていきたい」とお話がありました。

その後、11月5日付けで要望書に対する回答をいただきました。要望に対する回答はHPへ掲載しております。



要望書提出の様子

【市への要望事項】

- 1 担い手等の確保・育成
 - (1) 多様な担い手の確保について
 - (2) 大型機械やドローン等の免許・資格取得の支援について
 - (3) 人・農地プランの実質化に向けた取組支援について
- 2 農業生産基盤の整備促進について
 - (1) ほ場および基幹施設の整備について
 - (2) 農業機械の導入経費支援について
 - (3) ため池や水路等の維持管理に対する支援について
 - (4) 令和2年度市単独土地改良事業の推進について
- 3 米政策について
 - (1) 加工用米の基準単収の設定について
 - (2) 産地交付金の交付単価の設定について
 - (3) 主食用米の生産の目安について
- 4 農業委員会の体制強化について

令和2年度農作業標準受委託料

作業種別		料金(円)		備考	
春 作業	耕起	10a当	6,000	オペレータの1人作業	
	代かき	10a当	6,600	オペレータの1人作業	
	田植	機械植え	10a当	6,500	苗は含まない オペレータと補助労働者の組作業
		側条機械植え	10a当	7,600	苗は含まない オペレータと補助労働者の組作業
秋 作業	脱刈穀取	コンバイン	10a当	18,600 初運搬費(2,500円)を含む オペレータと補助労働者の組作業	
	乾燥調製	生乾燥	10a当	7,400	初投入・排出・見回りとする
		補助乾燥	10a当	5,000	初投入・排出・見回りとする
		もみすり	60kg当	500	紙袋は含まず、オペレータと補助労働者の組作業
薬剤散布	粉・粒剤(長管)	10a当	800	畦畔からの散布 薬剤は含まない	
	粉・粒剤(短管)	10a当	1,500	水田の中からの散布 薬剤は含まない	
	乳剤	10a当	1,100	薬剤は含まない	
あぜ塗り		100m当	4,500	1m当り45円	
草刈り		10a当	1,800	畦畔及び溝畔部分	
溝切り		10a当	1,800	縦4本・横2本	
一般作業		1日当	7,500	男女共	

【注意事項】

- この料金は、一般的な10aほ場条件のもとに算定した標準額を示したものです。50a区画以上のほ場での基幹3作業（耕起および代かき、田植、コンバイン）については、上記標準料金の90%とします。
- 労働時間は、原則として1日8時間としています。
- 「賄い」その他現物支給は含まれておりません。また、委託者が補助的に作業出役をしないものとします。
- 「手植え」「手刈り」については、一般作業に含みます。
- この料金は、オペレーターと補助員の人件費込みの金額です。
- この料金に、消費税は含まれておりません。
- この料金はあくまでも目安なので、料金設定は地域の実情に応じて決めてください。

秋田市賃借料情報

平成31年1月から令和元年12月までに秋田市で締結された賃借権（田）における賃借料（10aあたり）の情報です。料金設定の際の参考にご活用ください。

第1区域（北部地区）

地区名	平均額(円)	最高額(円)	最低額(円)	データ数
飯島	6,793	7,000	5,000	116
上新城	7,000	7,500	6,800	15
土崎	データなし			
金足	7,886	12,800	3,000	167
下新城	7,732	12,000	3,400	102
区域平均額	7,497			

第2区域（東部地区）

地区名	平均額(円)	最高額(円)	最低額(円)	データ数
旭川	1,000	1,000	1,000	1
外旭川	8,137	12,800	5,000	263
広山田	2,500	2,500	2,500	6
太平	8,386	11,093	4,693	47
上北手	6,400	6,400	6,400	43
下北手	6,400	6,400	6,400	36
区域平均額	7,717			

第3区域（南西部地区）

地区名	平均額(円)	最高額(円)	最低額(円)	データ数
四ツ小屋	4,000	5,000	2,000	3
豊岩	15,929	19,200	10,000	31
下浜	5,000	5,000	5,000	13
新屋・浜田	データなし			
仁井田	6,837	10,000	5,000	51
区域平均額	9,383			

第4区域（河辺地区）

地区名	平均額(円)	最高額(円)	最低額(円)	データ数
岩見三内	6,789	10,667	4,907	226
和田	9,162	16,000	4,267	162
豊島	6,122	10,667	3,840	162
区域平均額	7,291			

第5区域（雄和地区）

地区名	平均額(円)	最高額(円)	最低額(円)	データ数
川添	5,755	11,000	4,000	59
種平	17,000	17,000	17,000	5
戸米川	9,019	13,000	5,000	52
大正寺	データなし			
区域平均額	7,703			

秋田市平均額	7,614円
--------	--------

- データ数は、集計に用いた筆数です。
- 地区平均および秋田市平均は、データ数を加重平均したものです。
- 物納は、12,800円/60kgの換算です。

農業委員・推進委員の選考について

農業委員会法の改正に伴い、本市農業委員会は平成29年7月から農業委員と農地利用最適化推進委員の両輪体制で新制度がスタートしました。

あれからもうすぐ3年が経とうとしています。

この1期目は、初めのうちは新設された推進委員は何をしたらいいのかといった手探り状態から始まり、「農地利用の最適化指針」を策定したり、「農地利用最適化区域部会」を毎月1回定期開催したりと徐々に体制固めが整い、今は現職48人で活動の実績を残そうとラストスパートのつもりで、日々、業務に取り組んでいます。

さて、本年7月には新体制の2期目が始まります。現在、候補者の選考を行っており、7月20日に任命・委嘱された段階でお知らせいたします。

編集後記



富岡 周馬 主事

この度、秋田市農業大賞表彰式において受賞された皆様に心からお祝い申し上げます。

令和元年度の農業子ども絵画コンクールでは、史上最多の334点の応募をいただきました。3ページで紹介しました入選作品はもちろん、ご応募いただいた全ての作品がどれも力作で、農業の楽しさや素晴らしさが伝わってくるものでした。

また、農業大賞を受賞された高橋長寿さんに、縁あってお話を伺うことができました。印象深かったのは、高橋さんの仕事に対する飽くなき探究心です。紙面の関係で全てをお伝えすることはできませんでしたが、インタビュール中、和牛について語る高橋さんの目は常に輝いていました。畜産農家として全国トップクラスの経営をしていることに満足することなく、自分の理想を追求する姿勢に感銘を受けました。

園芸振興センターの取材では、前号に続いて三浦さん、佐々木さんのお話を伺いました。お二人とも、充実した表情で2年目の抱負を語ってくださいました。

私自身は昨年の4月に農業委員会事務局に異動になり、一年が経過します。事務局職員としてまだまだ新米の私ですが、取材させていただいた、熱い農業者の方々への負けないよう研鑽に励みたいと思います。最後のようになりますが、この度、農委だよりの発刊にあたりまして、ご協力いただきました皆様に厚くお礼申し上げます。

農業者年金に加入しませんか？

→加入要件はたったこれだけ！

- ①60歳未満の方
 - ②国民年金1号被保険者
 - ③年間60日以上農業に従事している方
- ※配偶者や後継者などの家族も加入できます。

→多くのメリットが！

- ①終身年金で80歳までの保証付き！
- ②支払う保険料は全額保険料控除
- ③手厚い政策支援で保険料の国庫補助も！

お申し込み、お問い合わせは
JAもしくは農業委員会へ!!



全国農業新聞は、暮らしと経営に役立つ農業情報のほか、経営のパートナーとして活躍している農村女性や若い青年農業者の活躍など元気あふれる情報をお届けします。

- ・発行日……………毎週金曜日
- ・購読料……………700円／1か月（送料、税込み）
- ・お申し込み…秋田市農業委員会事務局へ
TEL 888-5796